



学校だより

令和3年1月8日
1月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho/>

TEL042(481)7636

新年にあたって

校長 川島 隆宏

新年、明けましておめでとうございます。

年末年始は、お天気も良く穏やかなスタートとなりましたが、新型コロナウイルスはさらに勢いを増しており、今年も気を引き締めて教育活動に取り組んでいかなければならないと、あらためて感じたところです。

さて、今日から3学期が始まりました。第一小学校にも2週間ぶりに子どもたちの笑顔が帰ってきました。昔から「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われ、あっという間に年度末になってしまう、そんな学期です。4月から勉強してきたことのまとめと、次の学年になるために必要なことにしっかり取り組んでほしいと思います。



現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、医療従事者の方々をはじめ、多くの方々が力を尽くしてくれています。年末年始を世の中のために働いてくれている方へ感謝をするとともに、私たち一人一人も、自分の行動を見つめ直し、感染拡大を防ぐ努力をしていくよう、子供たちにも強く呼びかけたいと思います。

話は変わりますが、去年は日本の若者の活躍が目立った年でもありました。テニスでは大坂選手、将棋界では藤井二冠、スケートの羽生選手など、10代から20代の若者が、大きな舞台で力を発揮していました。彼らに共通することは、逆境に追い込まれても決して諦めずに挑戦し続けることだと思います。自分の可能性を信じて、夢に向かって精一杯の努力をする。その強い気持ちが、偉大な記録を生み出したのだと思います。

小学生の時代は、これまでできていない事への挑戦ばかりと言ってもいいでしょう。勉強でも、運動でも初めて習う事ばかりです。最初からできる人なんてどこにもいません。先生やコーチの言うことをしっかりと聞いて、何度も練習して、少しずつ自分のものにしていく事が大切です。「学問に王道なし」という言葉があります。これは、全ての世界に通じることではないでしょうか。ただ、子どもの頑張る力を支えてあげられるのは、家族であり、友達であり、先生や身近な人だと思います。

一年のはじめにあたり、「夢に向かって努力する」とことと、「子供たちを支える」ことの大切さを、第一小学校に関わる全ての人で確認したいと思います。

まだまだ先は見えない今年ですが、教職員一同、子供たちのために全力で頑張っていきますので、本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いします。



1月の生活目標 **友達を大切にしよう**

3学期になり、クラスの友達との輪も広がってきたことでしょう。

休み時間の過ごし方や学級での活動を工夫し、仲良く遊ぶ中でお互いのよさを知り、人間関係がより深まっていくように指導していきたいと思います。